学校番号	1006

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	精選日本史探究						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史について学び、学んだことをもとに自分で考え課題を解決していきましょう。

2　学習の到達目標

① 日本史の基礎的な知識を身に付け、歴史的な事象について多面的に考察する力を養う。
② 日本史の学習を通じて広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる人間として必要な思考力と行動力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切に調べることができる技能を身に付けているか。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義や文化などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察しているか。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国やその文化を尊重することの大切さについて深めようとしているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	日本文化のあ	・日本列島最古の文化 ・縄文時代の社会と文化 ・弥生時代の社会と文化	a:人類の進化する過程、さらに日本列島に人類が居住するようになった過程について理解している。 b:新たな道具の登場が生活をどう変えたのか、多面的に考察し、適切に表現している。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート

	けぼの		c:旧石器文化と縄文文化を比較して、縄文文化の特徴について主体的に追究し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			発表など
	ヤマト政権の成立と古墳文化	・小国の分立と邪馬台国 ・古墳の出現とヤマト政権の成立 ・ヤマト政権の発展と統治の進展 ・古墳時代の生活と文化	a:『漢書』『後漢書』『魏志』に記されている、当時の日本列島に関する記述の内容を理解している。 b:古墳の形状・規模やその分布域を基に、ヤマト政権の成立過程について理解している。 c:渡来人によってもたらされたものが、その後の社会にどのような影響を及ぼしたのか、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	律令国家の形成	・古代国家の形成 ・飛鳥文化・白鳳文化 ・律令制度 ・奈良時代の政治	a:地図を活用し６世紀末の東アジア情勢について理解している。 b:渡来人によって伝えられた仏教文化が、ヤマト政権に与えたえいきょうについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:中央集権的な律令制度が運用可能であった背景について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	古代国家・社会の変容	・律令体制再編期の政治と社会 ・摂関政治の成立と支配体制の転換 ・国風文化	a:藤原北家が政治の実権をにぎる過程について理解している。 b:平安時代前期に行われた、遷都・東北経営・律令政治の再編成・諸制度の整備・弘仁・貞観文化の展開などに着目して、平安時代前期の政治や社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国風文化が、その後の日本の文化に与えた影響について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			

二学期	中世の国家・社会の展開	・鎌倉幕府の成立と朝廷 ・中世に生きる人々 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	a:治承・寿永の内乱の展開と鎌倉幕府の創設過程について理解している。 b:荘園が現地の様々な人々にとってどのような存在だったのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:力をつけていく北条得宗家と。困窮していく御家人の分岐点やその要因について、主体的に追究して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など
	中世の国家・社会の変容	・南北朝の動乱 ・室町幕府の政治と外交 ・室町社会の展開と応仁の乱 ・室町文化 ・戦国大名の分国経営	a:鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱までの過程について理解している。 b:室町幕府の組織と財政が鎌倉幕府と比べてどのように変化したのかについて考察し、適切に表現する。 c:史料「山城国一揆」・「加賀の一向一揆」を活用して、室町時代に将軍の権力が低下していったきっかけについて、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	東アジア世界の変化と天下統一	・織豊政権 ・天下統一の完成 ・近世成立期の文化	a:地図を活用して、ポルトガル・スペインの進出が東アジア海域や日本に与えた影響について理解している。 b:武家諸法度元和令を活用して、家康がどのように大名を統制しようとしたのか、また将軍と大名との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：東アジアの国際秩序の変化がこの時期の日本の文化にどのような影響を与えたのか、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	幕藩体制の成立と	・幕藩体制の成立 ・貿易の統制と対外関係 ・近世社会のしくみ ・幕府政治の展開 ・経済の発展 ・元禄文化と学芸の発展	a:資料を活用して幕府や藩の支配構造の特徴についてまとめることができる。 b:幕府はなぜ貿易を統制したのか資料を活用しながら共同的に考察し、適切に表現している。 c:資料を活用して、さまざまな書物に親しむ行為が村や町にも広がった理			

	展開		由について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 a:資料を活用して綱吉の政治の特徴についてまとめることができる。 b:交通・流通の発達、農業・手工業・商業の発達が相互にどのように関連し、その結果どのような現象をもたらしたのかについて資料を活用しながら多面的・多角的に考察し、表現している。 c:都市の持つ文化的機能と朝廷や幕府の文化が、民衆が文化をつくりだすことにあてた影響について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	近世の国家・社会の変容	・幕藩体制の動揺と幕政の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・近世文化の成熟と変容	a:資料を活用して、吉宗の改革政治とその成果について、まとめることができる。 b:ロシアの接近に対して幕府がどのように対応したかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:中央から地方へ、都市から農村へと文化が広がっていった背景と当時の社会状況との関係について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	明治維新	・開国から討幕へ ・明治維新 ・文明開化	a:資料を活用して「五箇条の御誓文」の草案と最終案の違いを理解し、新政府が目指そうとした内容をまとめることができる。 b:明治時代に定められた祝辞と現在の祝日との関係性について資料を活用しながら共同的に考察し、適切に表現している。 c:資料をもとに国内の人々や諸外国の人々が文明開化をどのように捉えていたかについて主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			

	近代国家の形成	・立憲国家への道 ・議会政治の展開と日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変化	a:資料を活用して、払い下げ先が三井・三菱などのちに財閥に成長した会社であることを理解している。 b:日ロ戦争時には開戦論だけでなく非戦論など多様な考え方があったことについて資料を活用しながら共同的に考察し、適切に表現している。 c:産業革命によって生じた問題と、現在の社会問題との共通点・相違点について主体的に追究して、学習したことを現代の社会問題の解決に生かそうとしている。			
三学期	両大戦間の日本	・第一次世界大戦 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開	a:「二十一か条の要求」を活用してその主な内容をまとめることができる。 b:関東大震災時の朝鮮人虐殺と三・一独立運動の寒冷性について資料を活用しながら適切に表現している。 c:「おもな文学作品」と「おもな美術作品」の資料を活用して、明治時代の思想・宗教・科学・文学に共通する特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト 定期テスト	定期テスト、レポートなど	活動取り組みの様子の評価 レポート発表など
	十個年戦争と日本	・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争	a:「国家総動員法」を活用して、これに基づいて国民徴用令などの勅令が発せられたことを理解している。 b:「満州国」に対する、日本と国際社会の考え方の違いについて、資料を活用しながら多面的に考察している。 c:資料を活用して、満州事変、日中戦争、対英米開戦それぞれでかかげられた「目的」について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	戦後日本の形成	・占領と民主改革 ・独立と日米安保体制の形成 ・高度経済成長下の日本	a:資料を活用して、極東委員会、GHQ、対日理事会などの関係性を理解している。 b:沖縄の基地の増加について、資料を活用しながら、現在の問題を踏まえて多面的に考察している。 c:資料を活用して、高度経済成長による人々の生活の変化を政府の両側面から主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			